

備 前 市 事 務 事 業 評 価 シ ー ト

事業の概要			
事業開始年度		昭和46年	
総合計画	大項目	06	健全で自立したまちづくり
	中項目	01	簡素で効率的な行政運営
	小項目	13	その他事務管理(秘書)
事務事業名		01	表彰事業
根拠法令・例規等		備前市表彰条例ほか	
担当課(室)		総務課	
職・氏名		係長 河井 健治	
電話			
このシート作成に要した時間		1.0 時間	

事業の意図する成果とつながる成果指標を設定

事業の目的	
対象(誰・何に対して)	郷土の誇りとしてひとしく敬愛を受ける者、行政委員、文化貢献、公共事務及び公共事務ほう助等、市勢の振興に寄与した者、市民の模範と認められる者等
目的(何のために)	対象となる者を表彰又は推薦し、その功績、貢献を講べる
事業の意図する成果(どのような状態にしたいのか)	対象となる者を表彰又は推薦し、その功績、貢献を講べるにより、市民をはじめ多くの方々が敬愛、賛美、共感の念を得られるようにする

事業の目的、対象、内容を考えながら妥当性を評価

事業の実績			
目的を達成するため実施した事業	細事業名	事業の説明	優先度
	功労・善行表彰事業	市表彰条例に基づき市の政治・経済・文化・社会等の振興に寄与した者を表彰する事務	
	栄典関係事業	叙位叙勲対象者の把握と上申に関する事務	
	名誉市民表彰事業	市名誉市民条例に基づき社会文化の興隆、市の発展に功績があった者を顕彰する事務	

事業費や受益者負担比率、単位当たりコストに留意しながら効率性を評価

事業費等		単位	平成20年度実績	平成21年度実績	平成22年度実績	
決算額	直接事業費		19	186	94	
	必要人員(人件費)	千円	0.07人	701	0.08人	744
	事業費計		720	930	563	
	国県支出金					
財源	受益者負担					
	繰入金	千円				
	その他( )					
一般財源		720	930	563		
受益者負担比率	%	-	-	-		
結果指標名		単位	平成20年度実績	平成21年度実績	平成22年度実績	
結果指標	功労・善行表彰者数	説明	条例に基づく対象者を表彰する			
	結果指標量	件	1	1	2	
	対前年比	%	-	100.0%	200.0%	
	活動コスト	円	256	147	188	
単位当たりコスト		256	147	94		

(平成22年度事業)

事業の成果						
成果指標名	年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度目標値	
		目標値(A)	1	1	1	1
		実績値(B)	1	1	2	到達目標値
功労・善行表彰があること	達成率(B/A)	100.00%	100.00%	200.00%	1	
成果指標設定の考え方・式や説明						
対象となる者の功績、貢献を講え、市民をはじめ多くの方々が敬愛、賛美、共感の念を持っていただくように表彰者があること						

事務事業の評価		5段階評価(A~E)のランク基準 A:高い B:やや高い C:普通 D:やや低い E:低い	妥当性評価 <A~E>
妥当性の評価	市の関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 市が実施するよう法令で義務づけられている <input type="checkbox"/> 法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす <input type="checkbox"/> 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない <input type="checkbox"/> 事業の内容が一部の受益者に偏っている <input type="checkbox"/> 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input checked="" type="checkbox"/> 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある <input type="checkbox"/> 市民・団体等から要望・要請が強い	A
	市民ニーズ	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> 実施方法(派遣・委託含)を見直すことでコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> 受益者負担率は適正である <input type="checkbox"/> 受益者負担率を見直す余地がある <input type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある <input type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている	B
効率性の評価	コスト	<input checked="" type="checkbox"/> 成果指標の設定は適切である <input type="checkbox"/> 成果指標の到達目標値は達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は前年度と比較して向上している <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は80%未満となっている <input type="checkbox"/> 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない <input type="checkbox"/> 法定事務・内部管理事務 であり成果は求めにくい <input type="checkbox"/> 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している	B

事業の目的やその数値目標がある成果指標に留意しながら効率性を評価

進行年度(H23年度)の改革改善内容						
状況	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止・完了
説明	叙位叙勲、市表彰を適切に上申、推薦することができるように常に事前準備に努める					

総合評価		5段階評価(A~E)のランク基準 A:高い B:やや高い C:普通 D:やや低い E:低い
永続的に行うことで、その効果が発揮される事業であることから、継続した事業実施が必要である	評価区分 <A~E>	B

平成24年度の方向性・取組目標						
方向性	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止・完了
取組目標	叙位叙勲等は突発的に発生することがあるが、事前準備を行うことで上申期限内に事務を行えるように継続して努める					